

# 森中だより

第2号

【学校教育目標】 学び合おう 磨き合おう

【重点目標】 ○学力を保障する

○自律（自立）した集団をつくる

○学びに向かう土台づくりをすすめる

## 活気ある風景

全校生徒111名全員が笑顔で輝きながら生活をする森中学校。そんな学校をめざしながら、教育活動をすすめています。新学期が始まり1ヶ月。至る所で、「活気」を感じています。

### 授業の風景



手が挙がる。自分の考えを発表する。仲間の答えを真剣に聞く。自分の答えと比べてみる。時には、班のメンバーで答え

を見つける。授業の最後には今日学んだことを振り返る。これが私たちのめざす授業の森中スタンダードです。多くの授業でそのような光景が見られるようになってきました。特に**体育の授業では、生徒のやる気みなぎっています。**

### 部活の風景



「お願いします！」大きな声で部活動が始まります。キャプテンを中心にアップを行います。部によっては、先輩がしっかりと後

輩を指導しています。練習試合で悔しい思いを何度もしている部もありますが、それに負けるような森中生ではありません。勝利をめざして練習をがんばっています。**6月6日（火）に郡総体**が行われます。是非、応援に来てください！

### 休み時間の風景



昼休み。グラウンドは元気な声でいっぱいです。サッカーボール。バレーボール。友達同士で楽しくおしゃべり。室内では、

忘れた宿題を必死にやっている生徒もいるようです。オープンスクールの日は休み時間も開放しています。子どもたちから「元気」をもらいに来ませんか？**6月のオープンスクールは、15日（木）です。**

### 生徒会活動の風景



自分たちの生活をより良くするために、生徒会活動が活発化しています。それぞれの専門部で計画した活動が、全校生

徒を巻き込んですすめられています。あいさつ運動、パワーアッププロジェクト、健康観察、完食クラスマッチ、本の貸し出しなど、それぞれが工夫を凝らしてがんばっています。特に、環境美化部のすすめる「**無言清掃**」はどんどんレベルが上がっています。

### 職員室の風景



職員室にも活気がみなぎっています。特に「子どもの成長」の話をしているときの先生方の顔はとても幸せに包まれています。時には、生徒への指導がうまくいかずに、悔しそうに周りの先生に相談をしている姿もあります。また、複数の先生方で教えている教科は、打ち合わせに余念がありません。「今日はここはうまくいった。明日はここをこうしよう」。そんな議論が夜遅くまで続くこともあります。職員室の電気が消えるのは……。先生方の健康や家族の幸せを犠牲にして成り立っているということにならないようにしなければと思う毎日です。

# 親子でつくる学習習慣

今年度PTA総会で「(4) 学校と連携した家庭学習の推進」という活動の重点が承認されました。その重点には「子どもたちの夢実現のため～子どもと共に学習習慣の定着・向上について考える」と具体目標がつけられています。是非、その具現化のために以下の3つのポイントを参考にさせていただきたいと思います。

## ポイント1:生活リズムを整える

「早寝 早起き 朝ご飯」とよく言われます。生活リズムを整え自分の体調を管理することは、生きていく上ですべての基本となることです。そのためには、十分な睡眠時間をとらせることが必要です。**まずは、「早寝」を実践**できるようご家庭で取り組んでみませんか？

夜更かしは学力低下を招く。成長ホルモンが分泌される深い眠り（ノンレム睡眠）と、脳に記憶をとどめる働きがある浅い眠り（レム睡眠）を最低6～7回のサイクルを確保するのが理想。そのためには8時間の睡眠が必要。テレビやスマホなどメディアが脳に与える影響も大きい。テレビは、リラックス効果があるが、脳の働きを限定的にしてしまう。スマホも、スマホの利用時間と学力の相関がデータ的に実証されている。（脳トレで有名な川島隆太氏の講演内容より）

## ポイント2:学習環境を整える

家庭学習の環境を整えるのは親の役目です。誘惑まみれの環境の中では、子どもがそれに負けてしまうことは良くあることです。それゆえに多くの家庭では、ゲーム、スマホ、漫画などに関して、家庭での約束事を決めていると聞いています。研修部による**NOメディア学習**の取り組みが始まりました。是非、この機会を利用して約束事を徹底したり見直したりできるといいですね。

### 家庭のルール例

- ・勉強中と就寝時は親がスマホ・タブレットを預かる。
- ・夜10時以降は、スマホはリビングに持ってくる。
- ・ゲームは、宿題が終わってから。平日は1時間以内。
- ・テスト前3日間は、パソコンでのインターネットは一切しない。



授業の始まりの様子：2年生

チャイムの間姿勢をただして黙想をします

## ポイント3:子どもから目を離さずに、手は出さず

「本来子どもがすべきことを、『言ってもしないから』と言って自分がやってしまう」そんな親になっていませんか？「自分の経験から、いろいろと先回りして子どものためにと行動してしまう」こんな親になっていませんか？子どもが自分のことを自分で考え自分の力で行動できるように成長させていくのが大人の役割です。「子どもに失敗させたくない」という親心が、実は子どもから**考える力を奪ってしまっている**ことがあります。思わず手を出したくなる気持ちは、子どもを持つ親であれば誰もが経験しています。でも、子どもが成長できることを信じて、ぐっと堪えることも時には必要です。子どもをよく観察していると、何気なくがんばっている姿がきつと見えてきます。成長したなという姿もきつと見えてきます。そのタイミングを逃さずに効果的な言葉を持って、その「努力」や「成長」をほめていけるといいですね。



- ・先週土曜日朝、野球部の保護者が練習をしやすいようにと、自主的にグラウンドの草刈りを実施してくださいました（野球部の部員も手伝ってくれました）。ソフトボール部の保護者も有志の方が来て実施してくださいました。おかげさまで練習がしやすくなりました。本当にありがとうございました。
- ・森中のローカには「今日の一口英語」が掲示されています。「眠たいよ～」「助けて！」「がんばって」など日常で使う表現が毎日更新されています。「友達同士の会話に少しでも使ってもらいたい」という英語科の取り組みです。町主催の夏のホームステイ(アメリカ1ヶ月)には5人の生徒が応募をしました。英検には14人の生徒が挑戦します。森中学校の国際化がどんどんすすめられています！